

# インタビューをしよう

## －ICT 機器を使って、自己を客観的に見つめなおす－

- 1 科目名 国語表現
- 2 単元名 インタビューをしよう
- 3 教材名 インタビュー
- 4 単元の内容

単元の目標 と評価規準 ・評価方法	<p>①単元の目標</p> <p>ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりしようとする。 <span style="float: right;">(関心・意欲・態度)</span></p> <p>イ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりする。 <span style="float: right;">(話す能力・聞く能力)</span></p> <p>ウ 相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのため文章を効果的に書こうとする。 <span style="float: right;">(書く能力)</span></p> <p>②単元の目標設定の理由</p> <p>対象学級は、高等部3年生である。生徒は授業にまじめに取り組むが、学級の人数が少ないため、受動的になりがちである。また、普段は電動アシスト車を使用しているため、生活体験が少なく、卒業後の就労先での他者とのコミュニケーションスキルを身に付ける必要があると考えた。</p> <p>就労先では新しく出会う人との関わりが増える。自分の考えをまとめ、言葉や文章で相手に伝えること、基本的な敬語を使うこと、相手の立場を考えながら行動することなどは社会人として必要なスキルであると同時に、周りの人と関わりながら生活を豊かにすることができるスキルであると考え。本単元の「インタビュー」を中心とした活動を実際に体験することで、これらの力を身に付けてほしいと考え、目標を設定した。</p> <p>③中心となる学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの準備をする。</li> <li>・「社会人一年目」というテーマで身近な教員にインタビューする。</li> <li>・インタビューの内容をまとめた掲示物を作成する。</li> </ul> <p>④言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問内容を深めるために、事前にインタビューの相手に基本的な質問に紙面で回答してもらい、それをもとに質問項目を考える時間を設ける。</li> <li>・インタビューの練習や本番の様子をタブレット端末で録画し、話し方や態度などを客観的に振り返ることができるようにする。</li> </ul> <p>⑤評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">評価規準</th> <th style="width: 30%;">評価方法</th> <th style="width: 20%;">状況Cの生徒への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心 ・ 意欲 ・ 態度</td> <td>           ① 主体的にインタビューの相手を決めたり、質問を考えたりしている。            ② インタビューの内容が深められる質問を考えようとする。         </td> <td>           観察 (机間指導)             点検            (ワークシート)         </td> <td>           ・様々なインタビューがまとめられている記事等を提示する。         </td> </tr> </tbody> </table>				評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応	関心 ・ 意欲 ・ 態度	① 主体的にインタビューの相手を決めたり、質問を考えたりしている。 ② インタビューの内容が深められる質問を考えようとする。	観察 (机間指導)  点検 (ワークシート)	・様々なインタビューがまとめられている記事等を提示する。
	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応								
関心 ・ 意欲 ・ 態度	① 主体的にインタビューの相手を決めたり、質問を考えたりしている。 ② インタビューの内容が深められる質問を考えようとする。	観察 (机間指導)  点検 (ワークシート)	・様々なインタビューがまとめられている記事等を提示する。								

	話す・書く能力	① 適切な声の大きさや表情を意識して話している。 ② 自らの考えが適切に相手に伝わる掲示物になるよう工夫する。	観察（机間指導）  点検（掲示物）	・インタビューの様子を録画し、振り返りながら、練習を行う。 ・写真や図を入れたり、文字の大きさを変えたりするなど、工夫できるポイントをいくつか提示する。
	知識・理解	①基本的な電子メールの書き方を理解している。 ②基本的な敬語を使って、話をしたり、文章を書いたりしている。	観察（机間指導） 点検（送信したメール）	・見本となるメールの文章を提示する。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューを依頼する際の電子メールやインタビュー相手への内線電話の使用など、体験活動を多く設定した。それぞれの事前練習を繰り返すごとに、声の大きさを意識したり、抑揚をこめた相槌をしようとしたりできるようになった。また、実際のインタビューでも内容を深める質問をすることができた。</li> <li>・タブレット端末でインタビューをする様子を録画し、さらにインタビューの相手からの評価されることで、自らの活動を客観的に振り返ることができた。その結果、自分自身の評価と周りの人の評価に違いがあることや、その原因に気づくことができた。</li> <li>・当初は質問の順番にまとまりがなく、一問一答のようなやりとりになってしまうこともあった。練習を重ねることによって「学生時代のこと」「社会人になってからの仕事のこと」「社会人になってからの仕事以外のこと」の3つに質問を分類し、整理することで、まとまった質問を行えるようになった。</li> <li>・授業後、授業や普段の会話で積極的に質問をする姿が見られるようになった。</li> </ul>			
アドバイス及び留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を使った振り返りの機会を多く設けた。その結果、それぞれの過程で成果と課題を確認することができた。</li> <li>・今回学んだ会話時の適切な声の大きさや聞く時の態度などは、卒業後の生活にも生かせるスキルである。今後も様々な場面で体験や練習させたい。</li> </ul>			
小中学校との系統性	中学校3年生 A話すこと・聞くこと ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。			

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1 5	○インタビューの準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューのテーマに沿って、インタビューをする相手を選び、その理由を発表する。</li> <li>・テーマの内容について、知っていることなどをブレインストーミングする。</li> <li>・ブレインストーミングをもとに、質問を考え、聞きたいことをWordでまとめ、事前質問用紙を作成する。【ア】</li> <li>・インタビューをする相手に依頼メールを送る。【言エ】</li> <li>・インタビューの質問を分類し、整理する。【ア】</li> <li>・事前質問用紙の回答をもとに、より内容を深められる質問を考える。【ア】</li> <li>・インタビューをするときのマナーや工夫できる場所を確認し、練習をする。【言エ】</li> <li>・インタビューの練習を行う。【イ】</li> </ul>	<p>ブレインストーミングの方法を理解し、積極的に意見を出している。【関】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導）</p> <p>基本的なビジネスメールの書式を理解し、作成することができる。【書】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導） 点検（送信メール）</p> <p>インタビューのマナーを理解し、積極的に練習をする。【関】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導）</p>	<p>小人数でブレインストーミングが難しい場合は、教師も一緒に行く。</p> <p>教科書や手本を手掛かりにして考えるように言葉を掛ける。</p> <p>質問を考えることが難しい場合は、5W1Hを手掛かりにするように言葉を掛ける。</p>
6 本時	○インタビューをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューを行う。【イ】</li> <li>・チェックシートをもとに、インタビューを振り返る。【エ】</li> </ul>	<p>声の大きさや表情、相槌などを意識してインタビューができる。【話】</p> <p>↓</p> <p>取組の観察</p> <p>客観的に、振り返りをするができる</p> <p>↓</p> <p>点検（ワークシート）</p>	<p>インタビューを行う前に、前時までの学習内容を確認する。</p> <p>インタビューの様子を録画したものを参考にするように促す。</p>
7 8 9	○インタビューをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューをまとめた掲示物を作成する。【言ア・言オ】</li> </ul>	<p>インタビューの内容をまとめることができる。【書】</p> <p>↓</p> <p>点検（掲示物）</p>	<p>図や写真を適切に取り入れることも効果的であることを確認する。</p>

6 第5時の学習指導案

本時の位置	第6時間目（全9時間）		
本時の学習目標	ア 適切な声の大きさと表情を意識してインタビューすることができる。（話す能力） イ インタビューをした様子を客観的に振り返ることができる。（関心・意欲・態度）		
事前の準備	①インタビューの様子を録画するためのタブレット端末と三脚を準備する。 ②インタビューの相手と、本時の目標等を確認する。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	<input type="checkbox"/> 前時までの学習内容を確認する。	インタビューの内容や、マナー、工夫できる点などを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までのノートやワークシートを確認する。</li> <li>ポイントを板書する。</li> </ul>
展開 35分	これまで学習したことをいかして、インタビューをしよう。		
	<input type="checkbox"/> インタビューを行う。  <input type="checkbox"/> インタビューの振り返りを行う。	インタビューを行う。 テーマ「社会人一年目」  録画したインタビューを見て、チェックシートに記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りができるように、インタビューの様子を録画する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 目標 ア に対する評価基準と評価方法                  [基準]適切な声の大きさ、表情を意識して話をしている。                  [方法]取組の観察             </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>一時停止など、タブレット端末の基本的な操作を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 目標 イ に対する評価基準と評価方法                  [基準]自らの姿勢を客観的に振り返り、チェックシートに記入することができる。                  [方法]チェックシートを確認し、他者と評価が大きく異なる部分がある場合は、その原因を確認する。             </div>
まとめ 10分	<input type="checkbox"/> 本時の学習を通して、日常生活における言語活動を振り返る。	今後、日常生活にいかせることを振り返りの結果から考え、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活には、様々な場面で、話したり聞いたりする場面があることを確認する。</li> </ul>